

平成 28 年 2 月 26 日

農と食の ICT 利活用を推進するための共通化委員会
「農業標準語彙に関する作業部会」委員の公募について

一般社団法人 ALFAE

一般社団法人 ALFAE では、「農と食の ICT 利活用を推進するための共通化委員会」に新たに「農業標準語彙に関する作業部会」を設置します。ついては、下記の通り、作業部会の委員を公募します。

農業 ICT に関わる多くの民間企業・研究機関の皆様の、応募をお待ちしております。

記

1. 「農と食の ICT 利活用を推進するための共通化委員会」の目的

オープン化、共通化・標準化等を推進し、国際的な Interoperability（相互運用性）の確保を通して「農林水産業を起点とするスマート六次産業化」に資する農業 CPS（Cyber Physical System）を実現する。

2. 「農業標準語彙に関する作業部会」の活動内容

農業 IT システムで使用される用語の多様性は、システム間の情報連携や交換の障害となる。用語の概念や用語間の関係性を構造的に表現した農業標準語彙体系は、複数システムが参照する基盤となりシステム間の相互運用性を確保する。

本作業部会では、内閣府「農業 IT システムで用いる農作業の名称に関する個別ガイドライン（試行版案）」により優先的に標準化すべきとされた“農作業の名称”・“農作物の名称”を対象とし、農業 IT システム等における用語の多様性、想定される語彙体系の利用場面や利用者ニーズ、利用場面や利用者ニーズに応じた重要語収集や概念整理方針、再利用可能な国内外既存語彙体系について情報交換することで、語彙体系の設計方針を決定する。また、農業標準語彙体系を試作、検証し、農業標準語彙体系から整備すべきユースケースや、国内外の既存語彙体系との連携について検討する。本部会での検討結果は国・行政機関へ提案し標準化活動に貢献する。なお“農作業の名称”については、SIP 事業で構築された農作業基本オントロジー (<http://cavoc.org/aao/>) を検討のたたき台とする。

- 1) 農業 IT システム等における用語の多様性に関する現状把握
- 2) 農業標準語彙体系の利用場面や利用者ニーズの想定

- 3) 利用場面や利用者ニーズに応じた重要語収集や概念整理方針の決定
- 4) 国内外既存語彙体系の再利用可能性調査
- 5) 検討結果を反映した農業標準語彙体系の試作・検証
- 6) 農業標準語彙体系から整備すべきユースケースの検討
- 7) 農業標準語彙体系と国内外の既存語彙体系との連携検証
- 8) 国・行政機関の標準化活動への貢献

3年間のロードマップ。

検討項目	1年目	2年目	3年目
1)用語多様性の現状把握	←→		
2)利用場面・利用者の想定	←→		
3)既存語彙の再利用可能性調査	←→		
4)農業標準語彙体系の設計方針決定		←→	
5)農業標準語彙体系の試作・検証		←→	
6)ユースケースの検討			←→
7)既存語彙との連携検証			←→
8)国・行政事業の標準化活動への貢献	←→		

3. 応募資格

当該作業部会の活動に興味のある民間企業、研究機関、個人

4. 募集人数

10～20人

5. 任期と報酬

- (1) 任期：委嘱日（平成28年3月予定）から1年間
- (2) 報酬：無

6. 応募方法

- (1) 募集締切：平成28年3月7日
- (2) 提出書類：応募用紙（別添）
- (3) 提出方法：電子メールにて一般社団法人 ALFAE (info@alfae.org) へ送付

7. 選考

提出書類による書類審査（必要に応じて面接を行う場合有）を行い、平成28年3月頃に採否を電子メールにて通知します。

8. その他

- (1) 応募書類は、返却しません。
- (2) 応募及び面接にかかる応募者の経費については、すべて応募者の負担とします。

9. お問い合わせ先

【農と食の ICT 利活用を推進するための共通化委員会事務局】

一般社団法人 ALFAE 東京事務所（担当：山野、木下）

〒105-0004 東京都港区芝 2 丁目 5-19 ITO Bldg 2F 株式会社ワコムアイティ内

TEL : 080-4223-7380 Mail : info@alfae.org

以上